

関東森林管理局分収林評価委員会概要

1 日 時 令和2年12月15日(火) 10時00分～11時30分

2 開催場所 関東森林管理局 5階中会議室

3 議 題 分収育林契約箇所の国による持分の買受け金額について

第1号議案	栃木県鹿沼市上永野	百川国有林603い林小班
第2号議案	新潟県新発田市大字蔵光	水谷国有林59そ1林小班
第3号議案	新潟県新発田市大字上三光	大平国有林61い3林小班
第4号議案	茨城県石岡市小幡	上人入国有林221う1林小班
第5号議案	埼玉県秩父市浦山	浦山国有林26は1林小班
第6号議案	埼玉県秩父市浦山	浦山国有林23ぬ1林小班外
第7号議案	神奈川県足柄上郡山北町世附	世附国有林104い5林小班
第8号議案	神奈川県足柄上郡山北町世附	世附国有林108に4林小班
第9号議案	静岡県賀茂郡河津町梨本	梨本国有林600ろ3林小班
第10号議案	静岡県伊豆市湯ヶ島	湯ヶ島国有林115い林小班
第11号議案	静岡県賀茂郡河津町梨本	梨本国有林600ろ1林小班
第12号議案	静岡県熱海市泉	泉国有林1025は林小班
第13号議案	静岡県伊豆市湯ヶ島	湯ヶ島国有林26は4林小班
第14号議案	静岡県伊豆市湯ヶ島	湯ヶ島国有林26は3林小班
第15号議案	静岡県伊豆市筏場	筏場国有林247は林小班
第16号議案	静岡県賀茂郡河津町梨本	梨本国有林577ろ1林小班
第17号議案	静岡県島田市大代	大代国有林1209に1林小班
第18号議案	静岡県浜松市天竜区佐久間町浦川	白滝国有林825に2林小班
第19号議案	静岡県浜松市天竜区春野町石切	石切国有林512い21林小班
第20号議案	静岡県浜松市天竜区春野町石切	石切国有林512い3林小班
第21号議案	静岡県浜松市天竜区水窪町地頭方	地頭方国有林356ろ2林小班
第22号議案	静岡県浜松市天竜区龍山町瀬尻	瀬尻国有林835ほ1林小班
第23号議案	山梨県南巨摩郡南部町上佐野栃廣	上佐野国有林124は林小班
第24号議案	山梨県南巨摩郡南部町上佐野	上佐野国有林77は林小班

4 出席者 〈委員長〉丸山幸男、〈委員〉壁村秀水、石川直美
森林整備部長、資源活用課長、供給計画係員、
森林整備課長、監査官(分収林)、分収林係長

5 議事概要

関東森林管理局から立木評価の考え方、国による持分の買受け価格の算定基礎等について説明の後、各議案について審議した結果、適正に評価されていると判断された。

なお、審議で出された主な意見等は次のとおり。

(委員) 昨年の実績で買受け実績がゼロの箇所、1口当たり買受け金額の記載があるが、この金額は最低保証金額か。

(事務局) オーナーに昨年の委員会で承認された買受け金額を提示したが、不同意となったものであり、最低補償金額ではない。

(委員) ヒノキの割合が高い箇所でも一口当たりの分取額が他の箇所に比べ低い場合があるが、単価が高いヒノキの方が高くなるのではないか。

(事務局) 契約満了時の想定より成長が遅かった事やヒノキの単価の下落の率が大きかった事など複数の要因が重なっているものと考えられる。

(委員) 最近では架線での搬出も見直されてきているが、搬出経費については車両系と架線系での比較は行っているか。元々架線系で算定していたものを車両系に修正したのか。

(事務局) 現在では架線による搬出技術を持つ業者がほとんどない事や、当局管内でも一部を除き車両による搬出がほとんどを占めている事もあり架線との比較は行っていない。分収育林設定当初は架線を想定していたが、今現在は車両系で算定を行っている。

(委員) 本委員会でこれまで審議した金額に対してオーナーからはどのような意見があるか。

(事務局) 「当初の費用負担額に対して低いのではないか」という意見を頂く場合が多い状況。契約時と今現在の材価の差をなど買受け金額が低くなっている理由を丁寧に説明している。一方で「緑作りのための費用を負担したので」と理解を示して頂くこともある。

(委員) 分収育林契約期間は何年くらいか。契約期間の材価推移を丁寧に説明すればある程度納得するのではないか。
長い目で緑の大切さを啓蒙していく方が良いのではないか。
現在の時代背景やオーナーの求めに合わせた企画を考えてはどうか。

(事務局) 契約により異なるが、30年前後が多くを占める。オーナーへは分収育林の販売状況やおすすめ国有林等、林野庁の提携施設で優待を受けることができる案内冊子「森林へようこそ」を年一回送付している。

(委員) 買受け金額に差があるのはなぜか。また、分収育林の設定箇所は元々良い条件の所を設定したのか。

(事務局) 算出額の差は搬出条件や、樹木の生育状況など様々な要素によるものと考えられる。分収設定時は搬出や生育状況を勘案し設定している。

(委員) 今回の評価額の適否について、各委員の意見いかん。

現在の木材需給等の状況等を踏まえ契約箇所の買受け金額が算出されているものと判断され、特に問題は無いと考える。